



こころの中を見つめよう 情愛を広げるために

2011～2012 年度

国際ロータリーテーマ：カルヤン・パネルジー会長



NO. 1151 / 2011. 09. 16

東京赤坂ロータリークラブ

例会日／毎週金曜日12:30

例会場／ANA インターコンチネンタルホテル東京
Tel 03-3505-1111

事務局／〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8

赤坂2丁目アネックス3F

Tel / 03-3505-5976 Fax / 03-3505-6004

E-mail / akasaka-rotary@w8.dion.ne.jp

URL / http://www.akasakarotary.com/

Weekly Report 東京赤坂ロータリークラブ週報 「未来に向かって広げよう心の絆 赤坂ロータリークラブ」 2011～2012 年度・東京赤坂ロータリークラブテーマ／高須康有会長

●本日の例会/2011 年 9 月 16 日 第 1178 例会

卓話：「東日本大震災 復興について」

第 2520 地区 2001-2002 年度ガバナー

伊藤 大亜 氏 (水沢東 RC)

●前回報告/2011 年 9 月 9 日 1177 回例会

卓話：

「お酒の世界の楽しみ方」

The BAR BARBRA

Bartender 里見 理恵子氏

(世界一の女性バーテンダー)



25 周年実行委員会：(橋本副委員長) 本日、例会後に 1 階「あかつき」で実行委員会を開催いたします。先に案内致している方々は参加願います。今回の内容は庄司特別会計から予算の提案があります、及び尾関記念事業委員長から高田松原復興助成金申請についてが主テーマです。

前年度幹事報告：(橋本前年度幹事) 2010～2011 年度の総括と致しまして、本日皆様に吉岡年度の年次報告を週報特集号として配布いたしました。この年度に於いて実施した主たる内容であります理事会決議の主たる事項・特記する行事・地区関係実施事項・会計報告等々を網羅いたしました。皆様にご覧頂きご批判・御指導賜りますと幸いです。

クラブ広報委員会：(松本委員長) 当クラブホームページに会員専用のページを開設いたしました。アクセス方法については、9/2 週報の裏面をご覧ください。

出席報告： 会員 43 名／出席 19 名・欠席 24 名

ゲスト / 里見理恵子 (卓話)、桑原利行

ビジター / 相沢英之 (東京 RC)、近藤昌平 (東京 RC)、
麻生誠 (福岡 RC)、清水重雄 (東京西南 RC)、
大野木孝之 (東京紀尾井町 RC)

計 7 名 (順不同・敬称略)

●次回予告/2011 年 9 月 30 日 (金) 第 1179 例会

卓話：「大腸がんのお話」

東京警察病院 副院長 大島 秀男 氏

※ 9 月 23 日 (金) は、休会です。

9 月火曜会

テーマ：如何にこの夏 (休み) を過ごしたか？

今回の火曜会は新入会員の朴さん、穂苅さんが初参加。勝山さんも日本に来ていたため参加。加えて小原さんのゲストが若い女性の弁護士の卵ということで、一層盛り上がりました。参加者は総勢 19 名となり、次の例会の参加者が減るのではないかと心配までもしました。

岩上さんは中野商店街の阿波踊りに連を仕立てて参加。青春の血を思いっきりたぎらせ、この暑い夏を堂々と乗り切りました (声は十分囂らしたようでしたが)。

勝山さんは、仕事は台湾を本拠に、中国本土、シンガポールなどのアジア各国を飛び回っていて、夏休みはアメリカで過ごす等、グローバルに行動している様子で生き生きとしていました。

小原さんは、美味しいワインの飲み歩きのフランス旅行を楽しみました。

尾関さんはアメリカからお孫さんが来られたので、日本文化を忘れないように京都の保津川下りを楽しみました (その前日、天竜川下りで事故があったにもかかわらず)。それぞれの皆さんの話は楽しく夜が更けるまで話はつきませんでした。

なお、火曜会の前に村山さんの講師によるスマートフォン研究会が開催されました。当分の間、火曜会の前に開催される予定なので、奮ってご参加ください。 (西澤記)

参加者： 高須会長、庄司副会長、尾上幹事、朴 (初参加)、穂苅 (初参加)、村山、吉岡、尾関、清水、橋本、小林、岩上、田村、石井、竹本、小原、長岐和恵 (小原さんのゲスト)、勝山、西澤



9 月 9 日 (金) / 6 件 12,000 円

累計 244,500 円

多額の寄付を有難うございました。

田村昭二/里見さん、ようこそ赤坂ロータリークラブへ。本日の卓話よろしく願います。**西澤民夫**/里見さん、卓話楽しみにしています。桑原さん、よくいらっしやいました。**小林博茂**/9 月 6 日火曜会に参加しました。火曜会に出ると皆様とは昨日会ったようです。火曜会に出て仲間を深めましょう。**土屋東一**/竹本さん、ピンチのニコニコご苦労さまです。**清水寛**/9 月に入り秋ですね。竹本さんニコニコご苦労様です。**竹本孝三郎**/皆さん、こんにちは。本日は、渡部一元先生のピンチヒッターです。ニコニコありがとう。

25 周年記念事業・第8回実行委員会開催

25 周年記念行事、実行委員会開催は今回で第 8 回目（記念事業委員会、祝典・祝賀委員会を含む）となり、詰めの段階に入りました。実行委員会の提案事項は、9 月 2 日の理事会で承認を得ており、10 月の理事会に特別会計（予算）を提出し、お計りする事となっています。本日は「25 周年記念行事予算」と記念事業の「高田松原復興支援の補助金申請」、その他について打合せを行い、下記のとおり実施する事としました。

記

1. 開催目的/25 周年記念行事 第 8 回実行委員会
2. 日時/2011 年 9 月 9 日 13:40~15:00
3. 場所/ANA インターコンチネンタルホテル東京 1 階「あかつき」
4. 参加者/大日方実行委員長、高須会長、尾上幹事、村山実行副委員長、橋本実行副委員長、尾関記念事業委員長、清水祝典祝賀委員長、竹本記念誌記録委員長、庄司特別会計委員長、飯島特別会計副委員長
5. 議事録
5. 1 25 周年記念行事予算について庄司特別会計、橋本実行副委員長から説明
- (1) 収入関係及び参加者
 - ①2011 年度上期会員徴収額 1,505 千円、2010 年度下期会員特別徴収 460 千円、家族参加者は会員 43 名のうち 40%の 17 名は最低限として参加を呼びかけたい（会員 33 名（77%）、家族 17 名：計 50 名）
 - ②案内状発行者（登録料 15,000/1 人）は、パスト会長を含めて 22 名を確保したい。
 - ③招待者は、千代田グループ会長、幹事 12 名
地区関係者はガバナー、地区幹事、ガバナー補佐、グループ幹事、米山委員長、R 財団委員長 6 名
 - ④中央新 RC 会長、幹事（合同プロジェクト関係）2 名
 - ⑤公山城 RC、水沢東 RC、陸前高田 RC 10 名
 - ⑥100 名強の参加を目指し、収入は 2,700 千円以上を目指す。
- (2) 支出関係
 - ①ホテル支出は着席buffet方式の食事、参加人数通りで積算する。
 - ②ホテル支出のうち音響機材材料は予算から外す。
 - ③アーティストの控室、謝礼、軽食は 200 千円を目途とする。
 - ④花束 4 束用意。
 - ⑤公山城 RC 宿泊は姉妹クラブ締結の細則に則り一般会計から拠出する。
 - ⑥ホテル担当者等へのお礼を実施する。（一般会計）
 - ⑦記念誌ならびにダイジェスト版（当日配布）は 500 千円で実施。
 - ⑧招待状、案内状、郵送料は清水委員長、及び橋本副委員長が検討する。
 - ⑨祝典・祝宴の参加者全員にりんごをプレゼントする。
りんごに 25th 赤坂 RC と印刷する案については成功率が 30%と低く割高となるため、上質のりんご 2 個セットとして袋に印刷して配布。尚、袋の中には放射線セシウム等の検査結果資料を入れる事とする。
（1 セット 700 円）
 - ⑩案内状、招待状を 10 月中旬に発送し、11 月中旬に返事をもらう事とする。
 - ⑪招待者、案内状で登録される 70 名には記念品を用意する。（1,500 円～2,000 円）
 - ⑫支出は 2,700 千円以下を目途とする。

5. 2 記念事業関係を尾関委員長から説明

(1)2011 年 8 月 25 日にロータリー東日本震災復興基金申請書に片倉ガバナー、高須会長に署名を頂きました。

①補助金申請額は日本委員会 3,500 千円、地区 2,100 千円、クラブ 1,400 千円で実施

②日本委員会 3,500 千円は了承されるが、地区 2,100 千円は財源がなく厳しい状況にあり、これを低減し、クラブ負担 1,400 千円を増加させる必要がある。10 月に再度申請するが、それ迄に煮詰める事とする。

(2)補助金申請に当たっては、緊急性、人命性に確固たる必要性を求められたが、陸前高田 RC 佐々木幹事と打合せを行った結果、仮設住宅に居住の方々が心の寄り所がなく、大変な心痛をしている実情を説明し、高田松原を心の寄り所である事から考えても、地域居住者に松の苗木を植樹する公園的な憩いの場所を設け、将来に希望の光をもたらす「ロータリーの杜」（仮称）的な場所を提供する事は、誠に緊急性、人命性の観点から考えて適切と思う。
（橋本年男実行副委員長記）



めんぼうを再開します！

会員の皆様からの投稿を心からお待ちしております。

めんぼうは、2001—02 年度大日方会長時代に、当時のクラブ会報委員長の発案でスタートしました。めんぼうとは奇妙なネーミングと思われるでしょうが、もとなった言葉は、「member's voice」です。これも委員長の命名です。メンボウは綿棒にも通じ、綿棒で耳の中をきれいにし、他の会員の話に良く耳を傾けようではないかという願いを込めたネーミングでもあります。

日頃例会で顔を合わせている会員同士も意外にプライベートなことなど知らないことも多いものです。あるいは職場でどんなことをされてるのか。お互いを知り合うための場として、会報は格好の場ではないかと考えたのが発端です。クラブ会報は時々、記事が不足して、誌面が埋まらずに困ることもあるので、これを避けるため、あらかじめ皆さんからの投稿原稿をストックしておいて、いざという時に使おうという考えも、あまり大きな声では言えませんが、委員会の本音でもあります。この数年、めん棒の掲載があまりなかったのですが、止めてしまったわけではありません。積極的に行っていなかっただけです。そこで今回改めて盛大に呼びかけ、再開することにした次第です。

内容は特にこれではいけないということはありませんが、ちなみに、スタートした時の案内の例を挙げると、「私とロータリー」「私の哲学（自社の経営方針）」「座右の銘」「業界トピックス」「最近思うこと」「私の家族」「趣味・健康」「その他」というものでした。その他なんでも構いません。

また、ご自身が書くだけでなく、あの人にこんなテーマで書いてほしいなどという申し出も大いに歓迎します。字数は 1,000 字程度を目処としますが、少なくとも構いません。誌面の都合で、字数の削減や掲載時期の変更をお願いすることもあります。今後のクラブ会報の発展のために、よろしくご支援の程お願い致します。

クラブ会報委員会一同